念が自然と生まれた。

これを機に新撰組は、「経営」と「店＝人間育成道場」の二本柱で2号店、3号店と店舗展開を続けていくことになる。

闘牛との日々

重田の周りには人が集まる。仕事終わりの食事会では、重田の友人でロサンゼルス在住20年の出版コーディネーターの松山氏が「本当にいい友人です。高校生時代の話を聞くと、当時なら絶対友達にならなかったと思いますが」と笑う。

従業員は重田を社長として尊重しているが、社長との間に壁は見えない。日本ではやんちゃで暴れ回っていた人間も、新撰組に入ると面倒見のいいリーダー格に育っていく。重田の話を聞いていると、その人間力は空手で養われたものもあるが、もうひとつ、少年時代から育まれたものがあった。重田の出身地は鹿児島県の徳之島。ここは古くから闘牛で有名な地で、闘牛を横綱にするのが島の人々のステータスでもある。

土建業を営み、徳之島の闘牛会長だった父は重田が小学1年生の頃、血統書付きの闘牛の仔牛の世話を命じ、重田は365日毎年休まず世話をすることとなる。普通の子供のように友達と遊んだ記憶はあまり無いという。重田は与えられた闘牛を〝びょーぐわ〟と名づけ可愛がった（びょーとは徳之島の方言で仔牛という意味。

闘牛はまもなく重田になついたが、闘牛の世話をしていて、飼い主が角で突かれて死亡する例も少なくない。重田にももちろん事故のリスクはあった。

特訓として角を鋭利に研ぎ、ジョギングでスタミナ練習や樹木に向かって頭から突く、空手で言うサンドバッグ稽古をさせた。〝びょーぐわ〟は1トンを超える闘牛に成長し、勝ち続け、重田が中学2年になった頃には、ついに横綱に昇進した。横綱は最後まで重田に逆らうことはなかった。

重田はどんな獰猛な牛でも、愛情を注げば気持ちが伝わることを学んだという。

空手道場にて

昨年からは修道空手という道場の代表をしている。修道とは、武道の道も人生の道も共通するように修行しながら、道をただし、常に進化を重ね正しい方向に修めるという意味で名付けた。

重田は、元々は芦原会館の指導員だったが、新撰組設立後は仕事が忙しく道場にあまり顔を出せなくなっていた。そこに昨年、現地ロサンゼルスの芦原会館が閉館する事になり、昔の空手を愛する後輩たちが、重田を道場代表として設立したいと打診してきた。重田に声をかけた現・修道空手指導員の村井新一氏は「重田さんは実績があるし、強いし、とにかく拝み倒しました」という。

後輩の懇願を申し出る姿勢に胸を打たれ、重田は忙しい仕事のスケジュールを縫って週に1回のみ指導。取材日はコンビネーションとサバキを中心に、一人一人の間を回りながら丁寧に指導していた。重田が技の例を見せると、無駄な力がなく、サバキと突き蹴りの鋭さが抜群で十分強さが伝わってきた。彼は空手で生き生きと動く。彼の武道家としてのぶれない軸は、週に一度のこの稽古と日々の自主トレが、より良い栄養補給源になっているからであろう。

空手が経営に生かされたこと

13店舗も展開しロサンゼルスで家を買う、いわゆるアメリカンドリームを叶えた彼に、空手がどうビジネスに活かされたのかを聞いた。

「アメリカンドリームなんてまだまだですよ。これからまだ店舗を展開していきますし。ただ、活かされたことと言えば目標を諦めないことですね。分かりやすく鉄を例にすると、何度も何度も叩いて、折れないんじゃないか、って思っていたらある瞬間に折れることがある。それを限界点だとすると、実際自分の努力ではあと一回で折れる限界点が見えないことが多い。まだまだだと思ってみんな諦めるんですよね。腕立て伏せでももう限界と諦める人でも、あと一回、と励ますとできますよね。あと一回のチャレンジで勝てるかもしれないんですよ。限界点を超えるのも武道の重要な一つ。それは仕事でもイコールです。僕から言えば特別な人なんて誰もいないと思うんです。大義や使命感を持ち自分を奮い立たせ、限界点を超えるようにする。見えない限界点を諦めずに超えることです。すると何かその先に引っ張られるんです。私は同じ仕事を毎日していく中で急に売り上げが上がったり、そんな不思議な体験を何度もしているんです。売り上げを上げる方程式は存在しないと思います。当たり前のことを当たり前にコツコツとやり続けることです。もうダメかな、いやもう一歩だと言って限界点を超え、そうやって創業15年目にできたのがこの言葉です」

『王道に近道なし　我この道を行くされどこの道より近道なし』

空手や格闘技を志す方へのメッセージ

「壁にぶち当たっても言い訳せず突き進むこと。壁にぶち当たるということは自分が足らないからであって、足りない部分を気付かせてくれていることですからね。限界点を超えるために〝あと一回〟です。

格闘技の選手を目指す人で、強くなりたくて格闘技の練習が第一でバイトや仕事を二の次と考えて手を抜きがちな人もいますが、仕事も真剣にこなし、時給千円だとすれば、その仕事量なら時給二千円でもまだまだ安いと思われるくらいに僕は頑張りました。将来の自分には関係ないからと手を抜いたり、今の自分には必要ないと思って適当に給料を頂き時間を過ごしていては人生はつながっていかない。人生の中でのターニングポイント、点と点が線になるには、武道でも生活の為のアルバイトでも常に全力で一所懸命に立ち向かうことの積み重ねこそが大事だと思います。いい加減な仕事をしてて、後から気付いて、何年かして教えてくださいって行っても、誰も教えないですから。

最後に、全てが道場です。強さだけ求めても、本当の幸せを感じる事はできません。空手道場も職場も。競技だけでなく、学ばなくてはいけないのは精神だと思うんですね。間違いないです。そこがどの仕事にも共通しているんです。礼に始まり礼に終わる。相手を思いやる気持ち、全てにおいて最善を尽くす。そして、自分との闘いだということ。人である以上はどこでも一緒です。押忍！」

修道空手のメンバーと。

子供にやさしく丁寧に指導。

重田が道場でサバキを教える。サバキ、特に突きが鋭い。

修道空手

道場長 重田光康 三段　指導員 ブラッド・バークランド 二段、村井新一 二段

練習場所:Sparta Mixed Marital Arts1617 W Rosecrans Blvd Unit E Gardena. CA90249

連絡先

Email: shudokaratedojo@gmail.com

Web:https://www.facebook.com/shudokarate.dojo

新撰組 店舗紹介

アメリカ ロサンゼルス ※全13店舗

新撰組 焼き鳥 本店 ※第1号店
住所 18517 S. Western Ave., Gardena, CA 90248 Tel:310-715-1588

新撰組 焼き鳥・しゃぶしゃぶ モントレーパーク店
住所 111 N. Atlantic Blvd. #248 , Monterey Park, CA 91754 Tel:626-943-7956

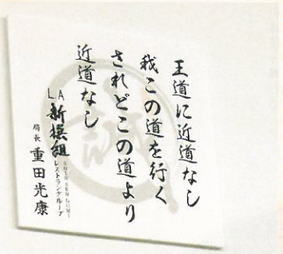
新撰組 博多ラーメン リトルトーキョー店
132 S. Central Ave., Los Angeles, CA 90012
Tel:213-687-7108

日本 ※全3店舗

誠（まごころ）本店
東京都千代田区神田駿河台3-7 百瀬ビル新館1階
Tel:03-5283-1550

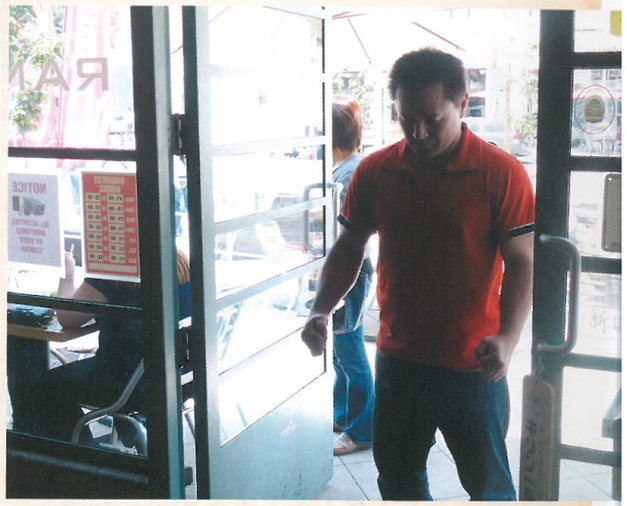
誠（まごころ）スンドゥブ 早稲田店
東京都新宿区西早稲田3-28-1
Tel:03-3204-4234

誠（まごころ）スンドゥブ 高田馬場栄通り店
東京都新宿区高田馬場3-4-14 協和荘1F中側
Tel:03-5937-4458



武道精神で経営をしてきて15年目に気付いた言葉が新撰組本社に掲げられていた。

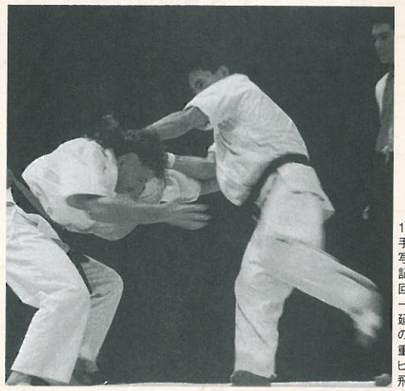
開店前の店内チェック。棚からお客様が座る椅子やテーブル、照明の隅々までホコリがついてないか隅々まで目を配る。「お客様には心地良く楽しく過ごしてほしい」と重田。


重田は店に入るとき、会社に入るとき「押忍！」と腕で十字を切り頭を下げて入る。「空手も会社も同じ道場」と重田。

仕事後の食事会。重田と友人、スタッフが分け隔てなく楽しい時を過ごす。

徳之島といえば闘牛が盛ん。1トンクラスの牛が角を突合せ戦う。重田の闘牛"びょーぐわ"は横綱となった。

新撰組リトルトーキョー店の看板メニューの豚骨ラーメン。濃厚スープは豚を長時間煮込み麺も自家製オリジナルで「このスープに合う麺を追求した」と重田。


1991年月刊空手道8月号より。写真右が重田。記事中には「1回戦、本戦両者一歩も引かず、延長にリバードの右ストレートが重田の顔面にヒットし歯が吹き飛んだ」とある。

私の格闘技ライフ 第7回